

令和6年度 集團指導 別冊資料

○生活介護サービス提供実績記録票（記載例）

日付	曜日	サービス提供実績												利用者 確認欄	備考	
		サービス提供 の状況	開始時間	終了時間	算定 時間数	送迎加算		訪問支援特別加算 時間数	食事提供 加算	体験利用 支援加算	入浴支援 加算	喀痰吸引 等実施加算	緊急時受 入加算			集中的支 援加算
						往	復									
			9：00	16：00	8						1					

実際にサービスを提供した時間を記入
(参照：厚労省Q & A vol.2 問 22)

個別支援計画で定めた
時間を記入※

算定する場合「1」を
記入する。

※個別支援計画で定める時間の算定について

○サービス提供時間が個別支援計画に定めた時間数と異なる場合

①個別支援計画に定めた時間より長くなった場合

事業所都合による場合	計画時間で算定
利用者都合又は天候や道路状況等による場合	実際に支援に要した時間で算定可能

②個別支援計画に定めた時間より短くなった場合

事業所都合による場合	実際に支援に要した時間で算定可能
利用者都合又は天候や道路状況等による場合	計画時間で算定

○生活介護の個別支援計画作成

- ① 医療的ケアスコアに該当する者、重症心身障害者、行動関連項目 10 点以上の者、盲ろう者等であって、障害特性等に起因するやむを得ない理由により、利用時間が短時間（6 時間未満）にならざるを得ない利用者については、利用前の受け入れ準備や利用後の主治医への伝達事項整理、申し送り事項の調整等に長時間を要すると見込まれるため、1 日 2 時間以内を限度として、個別支援計画に位置付ける標準的な時間として加えることができる。

（やむを得ない理由については、利用者やその家族の意向が十分勘案された上、サービス担当者会議で検討されサービス等利用計画に位置付けられていること。）

- ② 送迎時に実施した居宅内での介助等に要する時間は個別支援計画に記載した上、1 日 1 時間以内を限度として個別支援計画に位置付ける標準的な時間として加えることができる。

個別支援計画で定めた時間と実際のサービス提供時間が異なる状況が続く場合は個別支援計画の見直しを検討すること！

○短期入所サービス費の算定

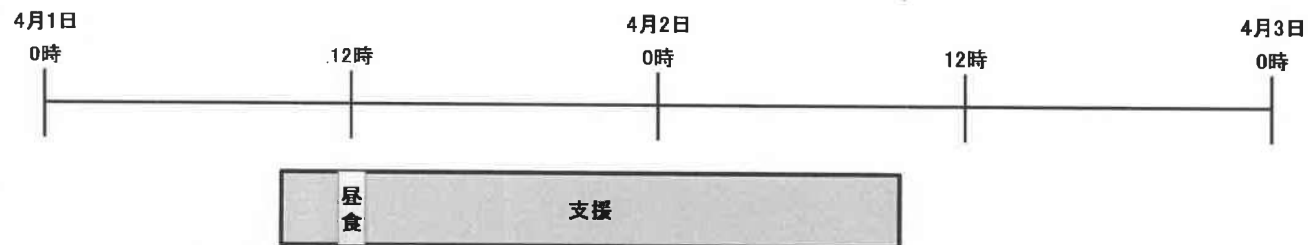
短期入所サービス費の算定について、同日に日中活動系サービスを利用しているかどうかで算定する報酬区分が設定されています。

報酬区分	備考
福祉型短期入所サービス費(Ⅰ)	短期入所のみを利用する場合
福祉型短期入所サービス費(Ⅱ)	日中活動系サービスと併せて利用する場合
福祉型短期入所サービス費(Ⅲ)	短期入所のみを利用する場合(障害児)
福祉型短期入所サービス費(Ⅳ)	日中活動系サービスと併せて利用する場合(障害児)

基本として1日を通して支援した場合Ⅰ・Ⅲを算定、日中活動系サービスの同日利用があった場合はⅡ・Ⅳを算定となりますが、日中活動系サービスの利用がなかった場合、日中に支援を行ったかどうかで算定する報酬が決まります。この場合、昼食の提供の有無をもって判断します。

日中活動系サービスの同日利用と昼食の提供が両方ともあった場合、Ⅱ・Ⅳを算定となります。1日の支援を総合的にみて判断していただければと思います。

例1 9時に入所～翌日10時退所の場合



算定(障害者の場合)

- 1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅰ
- 2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅱ

(障害児の場合)

- 1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅲ
- 2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅳ

例2 16時に入所～翌日10時退所の場合



算定(障害者の場合)

- 1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅱ
- 2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅱ

(障害児の場合)

- 1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅳ
- 2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅳ

例3 9時に入所～翌日17時退所の場合



算定(障害者の場合)

1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅰ

2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅰ

(障害児の場合)

1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅲ

2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅲ

例4 生活介護利用後16時に入所～翌日16時退所の場合

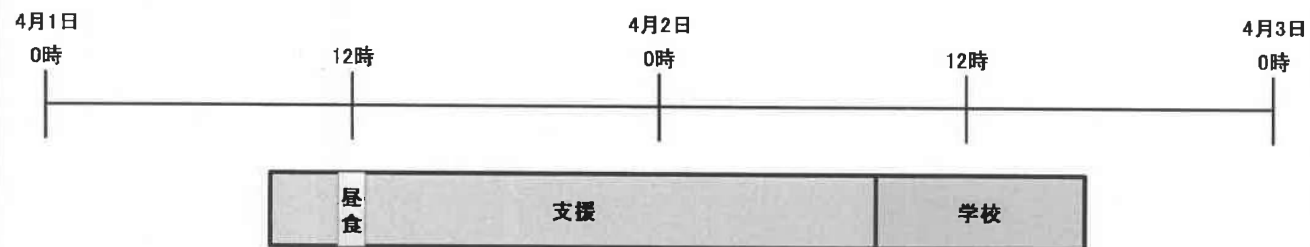


算定

1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅱ

2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅰ

例5 9時に入所～翌日8時に退所後学校があった場合



算定

1日目：福祉型短期入所サービス費Ⅲ
2日目：福祉型短期入所サービス費Ⅳ

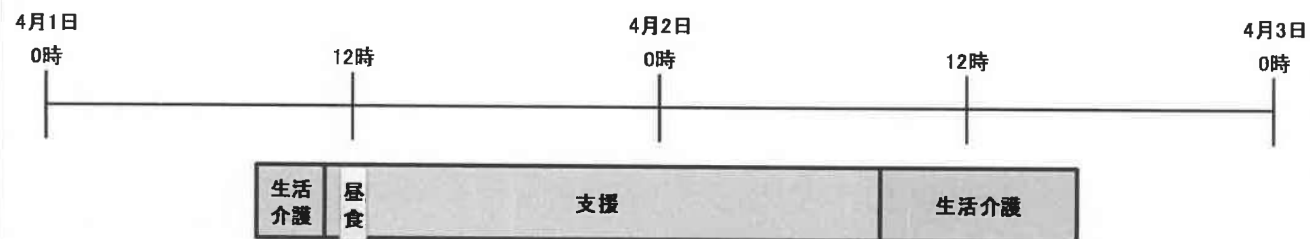
例6 9時に入所～翌日昼食を食べて15時退所後放デイを利用する場合



算定

1日目：福祉型短期入所サービス費Ⅲ
2日目：福祉型短期入所サービス費Ⅳ

例7 11時に入所し昼食～翌日9時退所後生活介護利用する場合



算定

- 1日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅱ
- 2日目: 福祉型短期入所サービス費Ⅱ

○帰宅時支援加算・長期帰宅時支援加算

	算定区分 ※1	要件	算定上の注意
帰宅時支援加算 ※2	外泊期間 3 日以上 7 日未満 187 単位 外泊期間 7 日以上 374 単位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援計画に当該加算についての記載があること。 ・ 帰省に伴う家族との連絡調整・交通手段の確保を行う。 ・ 帰省の間、家族等と連絡を取り生活状況の把握をする。 ・ 支援内容について記録しておくこと。 (必要に応じ個別支援計画の見直しを行う) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期帰宅時支援加算との同月算定は不可。 ・ 外泊が複数月にまたがる場合、2 月日以降の月は当該月外泊期間の合計が 3 日に満たない場合は算定不可。 ・ 算定は月に 1 回を限度とする。
長期帰宅時支援加算 ※2	指定共同生活援助事業所の場合 40 単位 日中サービス支援型の場合 50 単位 外部サービス利用型の場合 25 単位 1 月の外泊期間が 2 日を超える場合に、当該日数を超える期間を 1 日につき算定。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰宅時支援加算との同月算定は不可。 ・ 長期入院時支援特別加算との同日算定は不可。 ・ 外泊が複数月にまたがる場合、算定できる期間の属する月を含め、最大 3 か月間算定可能。また、2 月日以降の月は、当該月 2 日目までは算定不可。

※1 算定における外泊期間は初日と最終日を除く

※2 共同生活援助サービス費（Ⅱ）、日中サービス支援型共同生活援助サービス費（Ⅱ）、日中サービス支援型共同生活援助サービス費または外部サービス利用型共同生活援助サービス費（Ⅲ）を算定している利用者であって、病院または入所施設に入院または入所しているものについては算定できない。

○入院時支援特別加算・長期入院時支援特別加算

	算定区分 ※1	要件	算定上の注意
入院時支援特別加算※3	入院期間 3 日以上 7 日未満 561 単位 入院期間 7 日以上 1122 単位	○共通 ・個別支援計画に当該加算についての記載があること。 ・病院または診療所を訪問し、入院中の被服等の準備や利用者の相談支援など日常生活上の支援を行う。 ・退院後の円滑な生活移行ができるよう、病院または診療所との連絡調整を行う。 ・支援内容について記録しておくこと。	・長期入院時支援特別加算との同月算定は不可 ・外泊が複数月にまたがる場合、2 月目以降の月は当該月入院期間の合計が 3 日に満たない場合は算定不可。 ・入院期間 7 日以上の場合であって訪問回数が 1 回の場合は、入院期間 3 日以上 7 日未満の区分で算定する。 ・算定は月に 1 回を限度とする。
長期入院時支援特別加算※3	指定共同生活援助事業所の場合 122 単位 日中サービス支援型の場合 150 単位 外部サービス利用型の場合 76 単位 1 月の入院期間が 2 日を超える場合に、当該日数を超える期間を 1 日につき算定。	○入院時支援特別加算 ・訪問回数 入院期間 3 日以上 7 日未満 1 回以上 入院期間 7 日以上 2 回以上 ○長期入院時支援特別加算 ・特段の事情※2 がない限り、原則 1 週に 1 回以上病院または診療所を訪問する必要がある ・特段の事情がある場合は、具体的な内容を記録すること。	・入院時支援特別加算との同月算定は不可。 ・長期帰宅時支援加算との同日算定は不可。 ・外泊が複数月にまたがる場合、算定できる期間の属する月を含め、最大 3 か月間算定可能。また、2 月目以降の月は、当該月 2 日目までは算定不可。

※1 算定における入院期間は初日（入院日）と最終日（退院日）を除く

※2 特段の事情とは、主に利用者の事情により病院または診療所を訪問することができない場合を指す。

※3 共同生活援助サービス費（Ⅱ）、日中サービス支援型共同生活援助サービス費（Ⅱ）、日中サービス支援型共同生活援助サービス費または外部サービス利用型共同生活援助サービス費（Ⅲ）を算定している利用者であって、病院または入所施設に入院または入所しているものについては算定できない。

○日中サービス支援型共同生活援助サービス費の算定について

日中サービス支援型指定共同生活住居の基本報酬については、「日中サービス支援型指定共同生活援助と併せて決定されている日中活動サービス等を利用した日若しくは日中に介護保険サービス、精神科デイ・ケア等を利用し共同生活住居以外で過ごした日に、日中サービス支援型指定共同生活住居を提供した場合、(略)、報酬告示第15の1の2の注2（日中を当該共同生活住居以外で過ごす場合）に掲げる単位数（以下、「住居外単位数」とする。）を算定する。」とあります。

一宮市の指標

この規定については、日中活動サービス等を利用せずとも、当該共同生活住居において日中の支援が行われたか否かにおいて判断されるものと厚生労働省より回答がありました。ただし、明確な基準はなく、どちらの基本報酬単位を採用するかは各自治体にゆだねられることとなっております。

したがって、当市においては、日中の時間帯を9時から16時の7時間とし、日中の時間帯のうち半分を超える時間（3.5時間超）の支援があった場合は通常の単位数での算定を可能とし、半分以下の時間（3.5時間以下）の支援の場合は居住外単位数を算定することとします。なお、日中の時間帯以外の外出については考慮しないこととします。

通常単位数で算定の場合

区分	障害支援区分			
	区分6	区分5	区分4	区分3
日中サービス支援型 共同生活援助サービス費Ⅰ	997単位	860単位	771単位	524単位

日中の時間帯の半分を超える
支援をした場合に算定

住居外単位数で算定の場合

区分	障害支援区分			
	区分6	区分5	区分4	区分3
日中サービス支援型 共同生活援助サービス費Ⅰ	765単位	627単位	539単位	407単位

日中の時間帯の半分以下の
支援をした場合に算定